

議会ニュース

可決事項

- 【議案第39号】
財産の取得の件
- 【議案第40号】
平成13年度金木町一般会計補正予算(第2号)案
- 【議案第41号】
平成13年度金木町介護保険特別会計補正予算(第1号)案
- 【議案第42号】
平成13年度金木町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)案
- 【議案第43号】
平成13年度金木町水道事業会計補正予算(第2号)案
- 【議案第44号】
平成13年度金木町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)案
- 【議案第45号】
金木町税条例の一部を改正する条例案
- 【議案第46号】
平成12年度金木町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 【議案第47号】
平成12年度金木町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 【議案第48号】
平成12年度金木町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 【議案第49号】
平成12年度金木町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 【議案第50号】
平成12年度金木町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 【議案第51号】
平成12年度金木町水道事業会計収入支出決算の認定を求めるの件
- 【報告第12号】
専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(平成13年度金木町老人保健特別会計補正予算(第1号))
- 【報告第13号】
平成12年度金木町土地開発公社決算の提出の件
- 【発議第7号】
トラック輸送における安全確保・排ガス防止に関する意見書(案)

＝「9月定例会」＝

9月3日からの一般質問で川口隆議員が登壇し、農業問題や農業集落排水対策等について、町長らに質問しました。

内容は次のとおりです。

川口隆議員「農業複合経営対策として町独自の安定基金設置は、その後どのような状況になっているのか。人材育成はどうなっているのか。転作田における大豆・麦・ソバ・ジャガイモ等の面積を知りたい。川倉ふれあいセンターのソバ加工施設利用計画はあるのか。養鶏指導所跡地利用計画は進んでいるのか。」

鳴海町長「町独自の価格補てん対策は農協と連絡を密にしタイアップで行っていく考えである。人材育成のためにハウス等で行う花卉や花等を勉強させ少しでも農家の所得に結びつくように努力する。ふれあいセンターで転作でも奨励しているソバをもっと生かしながら観光物産館で販売できる方向に持っていく。指導所の跡地利用は後継者の育成にも結びつくような野菜研究施設にするなど最大限に生かす方策にしたい。」

順次住宅の建てかえを進めていく。宅地造成に対する補助等がなく町単独となるが固定資産やいろいろな面でメリツトがあることから期待に応えるように努力する。「跡地利用は補助対象となり町にとつて最大限生かせるように十分検討し県との連絡を密にしなから進めていく。」

農林課長「転作物物の状況は大豆が約二百八・二五ヘクタール、小麦が四十八・四七ヘクタール、ソバが百十一・〇八ヘクタール、飼料作物が五十五・一ヘクタール、地方増進作物が三十一・一ヘクタール、花卉が四・九八ヘクタール、トマトが十二・三ヘクタール、ネギが四・八七ヘクタール、その他が四・四ヘクタールと植付けされ、大豆が増えている以外は昨年度より減っている状況である。」

建設課長「農業集落排水可能戸数は今年度のポンプ設置計画から二百六十七戸のうち九十五戸が対象となっている。下水道加入促進奨励金交付要綱の制定から宅内工事及びトイレ等の改修事業を行った場合は一人当たり工事費の八%で限度額四万八千円を交付する。」「十三年度の予算は五千万円である。ただし現在橋の架け替えを行っている事業費は十二年度の繰越事業である。進捗率は全体事業費三十四億円の見通しのうち平成十二年度まで十四億九千三百万円ほど行っており四十三・九%である。津軽鉄道から藤本石油までの重点区間を十七年度の完成を目標とし全体事業の最終完成目標年度は二十四年度である。」

ま ち の で き ごと



美事善行職員に東北郵政局長賞

10月15日、金木郵便局内で同局非常勤職員の今渉さんへ東北郵政局長賞が授与されました。

これは、8月31日に今さんが喜良市地区を配達中に一人暮らしのお年寄り宅で出火し助けを求められ、自分の携帯電話で消防署へ連絡した後、同宅へ入り台所ガスレンジ付近の壁の火を消し止め、出火原因のガスもれの元栓を締め延焼を防ぎました。この行為が郵便局職員の美事善行として高く賞賛され、東北郵政局長賞に認められたものです。

稲刈りと脱穀を体験

嘉瀬小学校（校長＝對馬禮）では5年生を対象とした稲の生育体験学習を毎年実施しており、今年5月に学習田に手植えをした稲の刈取りと脱穀体験を、PTAとお年寄りの協力を得て行いました。

10月16日、軍手に長靴姿の児童らはカマの使い方の指導を受けた後、注意しながら一株ずついねいに刈り取り。31日、学習田に運び込まれた脱穀機まで島立され自然乾燥した稲を、汗を流しながら運び脱穀。

収穫されたもち米約270kgを前に、児童たちはもちつき大会を楽しみにしていました。



収穫感謝祭でにぎわう!

10月28日、喜良市小学校（校長＝小田川修三）の体育館で学校田から収穫された米の収穫感謝祭が、全児童とPTAやお年寄りら約180人が参加して開催されました。

感謝祭では、収穫された米の一部をオニギリにし、残りをもち米にかえて、児童たちと参加者が一緒になってもちつきともち作りを楽しみました。お昼には学年ごとの車座にPTAとお年寄りらが加わり、できたてのおにぎりに自分たちが作ったもちが入った雑煮とおしるこを美味しく食べていました。

『マディニー』にモニュメント完成

このほど簡保資金融資モニュメント（サイン塔高さ約4m）が観光物産館敷地内に完成し、11月8日鳴海町長や金木郵便局長らが出席して除幕式が行われ完成を祝いました。

これは、簡保資金が簡易保険の加入者や地域の人達の身近なところで、まちづくりに役立っていることを広く知ってもらおうと各融資施設にモニュメントを設置しているもので観光物産館が対象施設となっていることから選ばれ設置となりました。

モニュメントを前にして鳴海町長は「観光客の記念写真の場所となるし、色がグリーンで『ひばの町』のイメージにあっている」と話していました。



太宰をしのぶ・その文学の魅力④③

津軽・金木・太宰……(9)

金木町太宰会々長

木下 巽

書齋の本

津島美和子氏は著書の『回想の太宰治』『書齋』の章に、へ太宰は、…文筆業でありながら蔵書を持たず、…仕事に必要な資料を買う場合でも、できるだけ小型の軽い本を好んだ。座右の本は、すぐ若い方に進呈してしまふので始終入れ替わっていた。三鷹時代ずっとこの書齋にあったのは、辞典の外には、『真宗在家勳行集』（お経本）『金木郷土史』（昭和十五年版）『文芸懇話会』（物故作家略伝）以上三冊の特種の出版物くらいのものである。』と紹介している。



津島美和子
増補改訂版
回想の太宰治
夫人が描く人間太宰治

『金木郷土史』(旧)

太宰治が、ずっと書齋に置いていた『金木郷土史』は、昭和

十五年八月十五日、金木町で皇紀二千六百年・町制実施二十周年を記念して刊行したものである。太宰治は、なぜこの旧版『金木郷土史』を三鷹の書齋に大切に保存していたのだろうか。

A5判三六七頁の書物の口絵の冒頭に、(元衆議院議員・元貴族院議員津島源右衛門)の礼装写真が一頁大に掲載されている。続いて歴代町長欄には(第三代町長津島文治)の顔写真も収められている。

注目したいのは、巻末「郷土史補修」欄である。「当町出身ニシテ県外ニ活躍セルモノ」として、福士徳太郎氏(広島遊船社顧問)、角田千代吉氏(宇都宮駅長・上野駅助役、山崎金藏氏(宮内省入り)、澤田榮三郎氏(医学博士)、伊藤昭七氏(医学博士)、津島修治氏(作家)泉谷清一氏(弁護士)、鳴海巖氏(高砂丸機関長)、藤元嘉嗣氏(渡米・レストラン経営)らが掲載されている。これはほぼ編集が完了した段階で、金木町出身で各界で活躍した故人・現役合わせて九人の(名士)の経歴を紹介し、郷土史に補修した

ものと考えられる。



『金木郷土史』(昭和十五年版)

中央作家タリ

この中に太宰治も含まれており、(津島修治氏/氏ハ明治四十二年六月ノ出生ニシテ青中ヨリ弘高二進ミ帝国大学佛文科ヲ修ヘ現在東京市杉並区清水町ニ居住著述業ニ従事ペンネーム太宰治トシテ中央作家タリ)とある。住所が「杉並区清水町」となっているのは、長兄文治の指示で毎月の仕送り先を清水町の井伏鱒二方としていたので、編者が郵便局長にでも問い合わせて書いたものだろう。

相馬正一氏の一文によれば、『金木郷土史』は刊行と同時に太宰にも寄贈されているので、太宰は逸早く見たはずである。誰よりも驚いたのは太宰自身であっただろう。巻末とはいえ功成り名遂げた(名士)欄に自分

の名を発見し、「おい、俺もとうとう金木の名士になったよ。」と妻に書物を見せたであろう。

分家除籍の身

昭和十五年といえ、太宰治が津島家より分家除籍されてから十年目にあたる。その間の主なできごとを略述してみる。

昭和五年(一九三〇)官立弘前高校を卒業。四月、東京帝大仏文科に入學して上京。非合法運動にシンパとして関わっている。

一方、井伏鱒二と会い、以

来師事することになる。十月一日、青森の小山初代が出走上京。

翌月には長兄文治が上京、太宰治の分家除籍を条件に二人の結婚を認める。その十日後の十一月十九日夜半、田部あつみ(戸籍名シメ子)と鎌倉越越小動崎の海岸(豊岩)で共に催眠剤を嚥下。翌朝発見されたが女はすでに絶命、太宰治は病院に収容された。自殺補助罪に問われたが起訴猶予。翌六年一月、長兄文治と全文九条からなる正式の「覚」書きを交わした。二月小山初代と新世帯を持つ。同七年、青森警察署への出頭と左翼シンパ活動から離脱。同十一年、第一創作集『晩年』を刊行。十月、パピナル中毒治療のため、東京武蔵野病院に入院。同十二年、小山初代と離別。同十三年、天

下茶屋に赴く。石原家を訪問、見合いをする。同十四年一月、石原美知子と結婚式を挙げ、甲府市御崎町の新居に入る。九月東京府三鷹村下連雀に転居する。

昭和五年の長兄から分家除籍を申し渡されて以来、昭和十六年八月十七日まで、一度も生家の敷居をまたいでいない。

衣錦還郷の念

しかし、この間いろいろの事件、苦境の数々や罪を背負い込みながらも切り抜けてきている。また、創作意欲も衰えなかつた。『満顔』『富嶽百景』『新樹の言葉』『走れメロス』『女生徒』など七十数篇の作品を発表し、職業作家としての道を着実に歩んでいた。そして北村透谷文学賞を受賞している。

昭和十五年に『金木郷土史』が寄贈され、金木町出身の実業家・医学博士・弁護士と並んで「ペンネーム太宰治トシテ中央作家タリ」と紹介されたことに、太宰治は謙虚に喜び、衣錦還郷の念に浸っていたと思う。

この『金木郷土史』を支えとして、『東京八景』を発表。そして十年ぶりに帰郷し、『帰去来』『故郷』『津軽』など一連の(故郷もの)を執筆することにつながっていく。

禁煙について

内科 齊藤 幹雄



十月より金木病院に勤務しました齊藤です。内科担当で特に消化器内科を専門にしていますが、今回はたばこ病、また禁煙のためのニコチン置換療法について述べたいと思います。

日本人の三大死因は癌、心筋梗塞、脳卒中であり、たばこは多くの調査にて悪影響を及ぼしています。(表1)特に呼吸器疾患にて大きな割合を占めています。また喫煙による健康被害は喫煙の流行により二十年、三十年遅れて現れることが知られており、一九五〇年には年間一千人であった肺がん死亡者数が一九九〇年代後半には約五万人と五十倍にも増加して折りその増加傾向は、喫煙が特に流行した男性に顕著です。

禁煙することにより、表2に見られるように禁煙を継続することで、肺がんによる死亡率は低下していきます。心筋梗塞の危険も禁煙して一年で五十%減少するといわれ、五十歳までに禁煙をした場合その後十五年に死亡する確率は半減しますが、たとえ高齢

であっても禁煙の効果は認められています。また、たばこ関連疾患の症状が現れてからでも、禁煙によってその予後は改善します。たばこは、「病気のなかでも予防できる最大の単一の原因」(WHO世界保健機構)です。

次に喫煙をしていた人が、禁煙するのが困難なのは、喫煙が単なる嗜好や習慣ではなくニコチン依存症、つまり薬物依存症であることに関係しています。ニコチンは長期間使用していると多幸感などの精神効果が見られるうえ、耐性や退薬症候(葉が切れると直ぐ取りたくなる)などの特徴があります。減らすことは困難であり、また本数を減らしても健康面ではそれほど良い影響は無くやはり禁煙しなければ病気の発生を減らすことは困難となつていくからです。そのため現在禁煙を手助けするためニコチン置換療法があります。実際に手に入れることが出来るものとしてニコチンパッチがあり、大きさ五cm程度で一日一回体に貼ることによって、血液中のニコチン濃度を維持できるようになつていて、パッチに含まれているニコチンの濃度を徐々に下げることで、ニコチン依存症から離脱することが可能となります。治療期間は八週間で、一枚当り四百円前後しますので八週間で約二万三千円かかりますが、一日三十本吸う人ではたばこ代と変わりありません。ただし健康保険は使用できないため全額自己負担になります。禁煙に投資して健康を回復することが重要ではないでしょうか。

表2 禁煙後の年数と肺がん死亡率

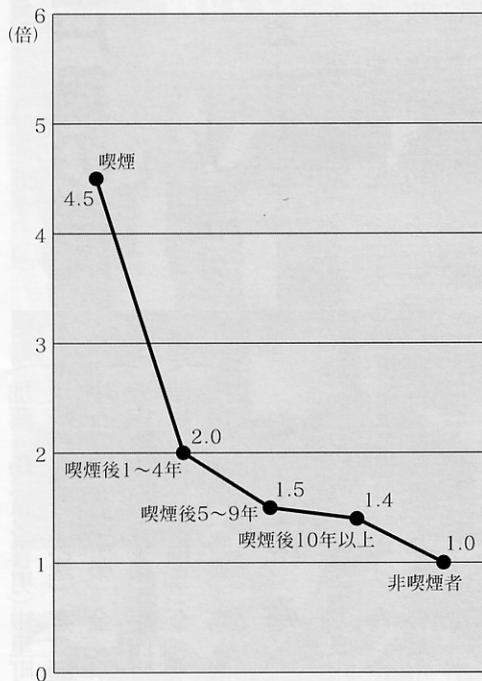


表1 日本の喫煙関連死亡数と死亡割合

死 因	喫煙関連死亡数 (死亡割合%)
全 死	95,705 (12)
全 癌	49,346 (21)
肺 癌	34,112 (79)
上部消化管癌	4,521 (44)
その他の癌	10,023 (6)
閉塞性呼吸器疾患	9,203 (59)
その他の呼吸器疾患	8,269 (8)
循環器疾患	20,598 (7)
その他の疾患	8,289 (7)

国民年金情報

国民年金保険料の納め忘れはありませんか

国民年金は、将来の生活保障の一つとして欠くことのできないものです。保険料の納め忘れがある、将来、老齢基礎年金が減額になるばかりでなく、病気や事故など、万一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金を受給できなくなる場合もあります。

国民年金保険料の納め忘れが無いかもう一度確かめください。

第三号被保険者の届出
もれはありませんか

厚生年金保険の被保険者・共済組合の組合員(第二号被保険者)に扶養されている配偶者(健康保険で被扶養者と認定されている人)で二十歳以上六十歳未満の人が第三号被保険者となります。保険料は、加入している被用者年金制度から国民年金制度に対して負担しているので個別に納付する必要はありません。つまり、第三号被保険者は保険料を納めなくてよいのです。

しかし、届出を忘れたままにしておくと保険料未納(二年を過ぎた期間)の扱いとなつてしまいます。この場合、将来の年金額が減額されたり、受給資格を満たせなかったりすることがありますのでご注意ください。

また、扶養者が離職した場合や、被扶養者でなくなった時は、第一号被保険者となり、保険料を納めることとなります。

届出がお済になつていない方は忘れずに町役場へ届けましょう。

はじめまして

前多 葵衣ちゃん
(9月25日生)



健やかに育って下さい
(母 綾子より)

菊池 和馬くん
(9月18日生)



ごはんをいっぱい食べて
大きくなりましたよ！
(父 大介より)

【九月届出分】

中谷 恵莉ちゃん
(10月9日生)



早く大きくなって一緒に
遊ぼうね
(姉 莉奈・美希より)

工藤 亜斗くん
(9月26日生)



おおきくなったらいっし
よに遊ぼうね
(兄 颯斗より)

戸籍の窓

十月届出分

おめでとー

前多 葵衣 (昌顕) 金木
工藤 亜斗 (健児) 金木
伊東 美南 (誠司) 金木
中谷 恵莉 (宏) 金木
葛西 凛 (貴彦) 金木
鳴海 礼菜 (礼一) 喜良市

おしあわせに

山中 憲仁 (金徳) 嘉瀬
松川 智子 (兼治) 嘉瀬

おくやみ

加藤 均一 (多喜男) 中里町
土岐 恵久美 (武逸) 嘉瀬
中谷 幸一 (幸榮) 金木
荒内 めぐみ (徳榮) 平内町
開坂 淳一 (小桐ヒデ) 金木
内海 洋子 (勝興) 嘉瀬

長内 チヲ (83才) 喜良市
白川 マル (91才) 蒔田
面村 幸子 (78才) 喜良市
大橋 ちよ (91才) 金木
坂本 兼三郎 (58才) 中柏木
白川 佳津子 (39才) 嘉瀬
今 幸一 (68才) 喜良市
川口 キシ (95才) 金木
山形 トキエ (72才) 金木

♥かなぎ公民館ブライダル情報♥

このたび、めでたく「かなぎ公民館ブライダル」(企画・進行=事務局「金木町中央公民館」)によりカップルとなられた方々をご紹介します。

HAPPY Wedding



2001.10.21 新郎 中村 亮さん(金木)
新婦 山田 暁子さん(金木)

★ご結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館(☎53-3581)にご相談ください。
また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱入アルバムの記念品等々たくさんの特典があります。

人口と世帯

	10月末現在	前年同月比
男	5,695人	△ 40人
女	6,292人	△ 18人
計	11,987人	△ 58人
世帯数	4,076	16

お詫びと訂正

広報かなぎ十月号に誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。

▼「一ページ」欄の平成二十二年度が十三年度になっていました。

▼「十ページ」

「おめでとー」欄の今千尋ちゃんと海斗くんの喜良市が金木になっていました。
「おしあわせに」欄の出町真実さんが真美さんとなっていました。

この欄は金木町に住所を有している方々を掲載しています。
掲載を希望しない方は町民課窓口へ届出の際申し出てください。